

2024 年ベトナム小売市場の M&A 活発化と競争の激化

2025 年 2 月 4 日 作成

カテゴリ ベトナム M&A M&A 動向

2024 年ベトナム小売市場の M&A 活発化と競争の激化

ベトナムの小売市場は最近、大規模な M&A（合併・買収）取引が相次ぎ、業界の構図を変え、国内外の企業間の競争は一層激しくなっている。2024 年には、特に注目すべき M&A が多く見られた。この中で目立つのは、Mobile World Group（MWG）が Bach Hoa Xanh 社の 5%の株式を中国の CDH インベストメントに売却し、1770 億ドンを調達した事例である。調達した資金は、Bach Hoa Xanh 社のチェーン事業の拡大と運営支援に充てられる予定である。また、Masan Group が Vin Commerce を 11 億ドルで買収したことも重要な出来事であり、Masan Group は消費エコシステムを拡大し、小売市場での存在感を高めることに成功した。

さらに、Tiki などの電子商取引企業も国際的な投資ファンドから大規模な資金調達を行っており、ベトナムの急成長する電子商取引市場への外国投資家の関心が高まっていることを示している。過去にもタイの Central Group による国内スーパーマーケットチェーンへの投資や、Alibaba と Baring Private Equity Asia による Lazada への追加投資など、大規模な M&A が行われている。これにより、小売市場はますます競争が激化している。

専門家によれば、大手企業が M&A に積極的に参加することで、ベトナム市場全体の競争が促進され、小売業界全体が成長する可能性がある。しかし、M&A には多くの課題も伴う。特にタイ、日本、韓国などからの大手小売企業との競争がベトナム国内企業にとって厳しい状況を生んでいる。したがって、ベトナム国内企業は明確な戦略を構築し、顧客エコシステムの発展と消費者体験の向上に注力する必要があると専門家は指摘している。

今後の M&A 市場については、KPMG ベトナムの副社長であるグエン・コン・アイ氏が 2025 年には消費財業界が引き続き重要な役割を果たすと予測しており、不動産や製造業、情報技術分野も多くの成長機会を提供すると述べている。

以上